

ICT活用促進プロジェクト 実践推進校の実践 桐生市立川内中学校

「自分を信じて生きるとは・・・」 D(22)よりよく生きる喜び

第2学年・道徳

【ICT活用場面①】 導入の過程 ～共有～



事前アンケートの結果をグラフで示し、クラス全体の傾向を把握することで、生徒に問題意識をもたせる。

いけないと分かっているけど、それを我慢できないのは自分の心の弱さなのかな。

私は正直に言えないけど、言える人もいるのだな。

【ICT活用場面②】 展開の過程 ～可視化・共有・比較～



「もし自分だったらどうするか」について、色別カードを使って考えを大型提示装置に表示する。

Google Jamboardに自分の考えを短い言葉で表現し、それを基に小グループで詳しく説明し合い、多様な感じ方や考え方に触れる。



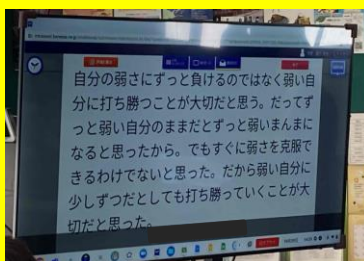
嘘をついて金メダルをとってもうれしくない。

地位や名誉を失ってしまうのは怖い。

自分をごまかし続けることはできない。本当の自分でいたい。

前向きに生きられる。

【ICT活用場面③】 終末の過程 ～思考の整理・共有～



今までの自分とこれからの自分の生き方について、ICT端末上で振り返り、提出・保存する。教師は、記述内容を把握し、意図的指名で生徒の考えをクラスに共有する。

<学びの記録を蓄積>

成長の様子を継続的に把握し評価に生かす。